

# ちの

# 市議会だより

## 令和4年6月定例会

第42号  
2022.9.1



多くみなさまのご支援で、第3種公認継続が強く望まれていた陸上競技場の維持・修繕・公認必要備品が予算化されました。



### もくじ

- ▶ 委員会の審査、本会議討論 …… 2～5
- ▶ 陳情議決結果 …… 5
- ▶ 議決結果・賛否一覧 …… 6
- ▶ 一般質問通告一覧 …… 7～8
- ▶ 正副委員長交代あいさつ …… 9～11
- ▶ 常任委員会活動報告 …… 12
- ▶ 傍聴について …… 12
- ▶ 編集後記 …… 12

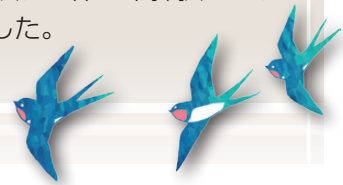
# 令和4年6月定例会のあらまし

茅野市議会 6月定例会は、6月2日（木）から6月22日（水）までの会期で開催。

会期中に追加提案された補正予算2案を含む、補正予算3案や条例など議案9件を審議し、いずれも原案どおり可決、承認、同意しました。

また国などに意見書を提出することを求める内容の陳情5件を審議し、4件を採択、1件を不採択とし、議員提案による意見書案1件と合わせて意見書5件を可決し、関係機関に提出しました。

各議案の一覧及び議決結果は、6ページをご覧ください。



②

めに必要な情報通信基盤、「都市OS・ネットワーク」等を構築するための委託料として3億9,923万円

○原油価格の高騰や物価の高騰に伴い、肥料やマルチ等及び燃料費負担が増加している経費の一部の補助として6,690万円

○原油価格高騰の長期化を念頭に、省エネ機器の導入や再生可能エネルギーの活用などにより、市内製造業者のゼロカーボンの推進に資する施設設備投資に対し支援するための補助金として1億円

議案第37号

令和4年度茅野市

一般会計補正予算（第3号）について

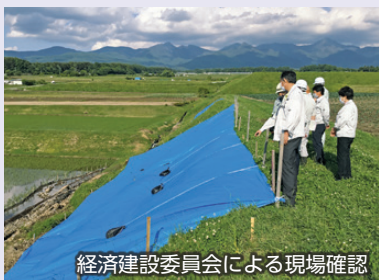
全会一致で



5,015万円を追加し、歳入歳出それぞれ289億584万9千円とするもの。

## 主な補正内容

○6月5日（日）の泉野地区を中心とした大雨で被災した58か所の災害復旧に係



経済建設委員会による現場確認

る経費として、測量設計委託料、重機借上料、工事請負費、応急工事用資材の原材料費等で5,015万円

## 総務環境委員会

委員長 矢島 正恒

議案第34号

茅野市職員の育児休業等

に関する条例の一部を改正する条例について

全会一致で



国家公務員の育児休業の規定を定めた人事院規則の改正に準じ、関係規定を整備するもの。

①

## 委員会に付託された主な議案

### 予算決算委員会

委員長 小尾 一郎

議案第35号

令和4年度茅野市

一般会計補正予算（第1号）について

全会一致で



4億9,545万3千円を追加し、歳入歳出それぞれ281億9,545万3千円とするもの。

### 主な補正内容

○AI オンデマンド交通「のらざあ」の本格運行開始時期の変更による、既存の路線バス運行延長分のバス運行事業者への補助金2,024万1千円

○民間の農業者が、国の「強い農業づくり総合支援交付金」を受けてライスセンターを整備するための補助金として2億68万8千円

○茅野駅周辺市営駐車場をキャッシュレス対応とし、併せて駐車場利用状況のデータ収集・分析を可能とするための駐車場精算機等の機器更新事業に係る工事請負費として6,000万円

議案第36号

令和4年度茅野市

一般会計補正予算（第2号）について

全会一致で



6億6,024万6千円を追加し、歳入歳出それぞれ288億5,569万9千円とするもの。

### 主な補正内容

○茅野市における地域DX推進のため、既存のサービスや今後展開するサービスのデータを効率的につなぐた


④

## 経済建設委員会

委員長 机 博文

議案第 32 号

### 市道路線の廃止について (豊平南大塩地籍)

全会一致で 

道路法第 10 条第 3 項の規定により市道路線の廃止について議会の議決を求めるもの。

**問** 払下申請の目的、用途は、廃止するかしないかの判断材料となるか。

**答** こういう目的であれば認める認めないといった基準はない。利用目的を聞いた上で、位置や形状、地元や隣接地権者の合意が得られているかなどで総合的に判断している。

**問** 茅野市内に未供用市道の事例があると思うが、事前に把握ができていないか、また廃止しないことで不都合が生じることがあるか。

**答** 現状全ての掌握は難しい。区・自治会や地権者から相談があった時に都度対応していく。不都合としては、自分の敷地の一部として使い勝手よく使われてしまうことがある。




## 福祉教育委員会

委員長 野沢 明夫

陳情 5

### さらなる少人数学級推進と、 教育予算の増額を求める陳情書

全会一致で 

#### 委員会での意見

- 丁寧で思いやりのある教育を考え、教育の現場から見れば、少人数学級がよい。
- 県は小中学校とも 35 人学級だが、国の仕組みは中学校は 40 人のまま。その分、県の出費が増えている。国の予算で 30 人学級を実現すれば、県の教育予算は自由に使える部分が増えることがはっきりしたので大いに賛成。
- 35 人でも多い。余裕をもって授業を受けられる仕組みが欲しいので賛成。

③

**問** 「当該職員または配偶者が妊娠し、または出産したこと、その他これに準ずる事実」とは何を示すのか。

**答** 妊娠、出産だけではなく、働き方や人生設計など、付随した全てのことと捉えている。

**問** 改正条文中に「～しなければならない」とあり、努力では済まされない状況だが、この整備に関する措置は十分図られると理解してよいか。

**答** 既に市役所としてやっている。規則で整備はされている。職場全体に制度を取りやすい職場風土を醸成していきたい。

陳情 4

### 国民の祝日「海の日」を 7 月 20 日に 固定化する意見書の提出を求める陳情



#### 採択の意見


- 祝日に関係なく仕事をしているところもある。経済効果に結びつくことは、また別問題。20 日に固定することは、意味があると考えるので採択。

#### 不採択の意見

- 20 日に固定しても、茅野市にメリットはない。
- 制定から第 3 月曜日になってからの方が長く、国民に定着していることが予想される。

陳情 9

### 諏訪湖生態系回復を 強力に推進することを求める陳情

全会一致で 

趣旨採択、一部採択という意見もあったことから、議員間で自由に意見交換（議員間討議）を行いました。

#### 議員間討議内容

- 県、各市町村での対策もある、広域でも全体でやる対策もあるかもしれない。6 市町村にも理解を求める必要があるということで陳情もされているのだろう。6 市町村長、また議会が合意すればいいこと、という捉え方もできるので採択でよい。
- 諏訪湖の環境は 6 市町村が関わることであり、長期的なスパンで、まず 6 市町村で一致団結して対策を、という意味合いの陳情と考えるので採択でよい。
- 対策にはいろいろある。限定的に捉えずに広範囲に考えればよいので採択でよい。
- 諏訪湖を守る意味で、協力して環境問題を解決していく、視野を少し広く考えたので採択でよい。

⑥

○茅野市には直接関係がないが、茅野市の教職員も全県異動のため関係がある。へき地であるために、子どもの学びの格差や教員不足にも関係してくる。茅野市の教員がへき地に異動したことで、教員をやめてしまうようなことがあってはならないので、声を上げることが必要だと思う。

### 本会議における討論

#### 反対討論

この陳情は、へき地に勤務する教職員のへき地手当の支給率引上げを求める陳情ですが、処遇を改善することが子どもたちの学びの場の改善につながるかどうかは不透明です。また、手当支給率は、それぞれの地域の生活環境等を考慮の上、長野県が決定しているが、諏訪地域には支給対象校は無く、支給率の妥当性も具体的な弊害も判断しかねるため不採択としたい。(竹内巧議員)

#### 賛成討論

長野県の教員は全県への異動があり、へき地、山間地勤務もある。手当率が下がり生活の困難さのために、バランスのよい勤務年数の教員の確保も課題。教育格差はもとより、教員不足の一因にもなる。近隣県との差も影響がある中、手当を 2005 年までの水準に戻し充実させることは、茅野市の子どもや教育とも無関係ではない。全県で声を上げることが必要だと考えるため、本陳情を採択。(木村かほり議員)

## 本会議における議案の審議

議案第 29 号

茅野市一般職の職員の給与に関する  
条例等の一部を改正する条例の専決処分の  
承認を求めることについて



### 本会議における討論

#### 反対討論

今、国を挙げて給与を上げようという時に引き下げは認められない。一人で外食に行くなど地域経済を回そうとしている職員も知っている。市役所職員の所得が減ることは地域経済にも大きな影響が及ぶことが予想されるので認められない。(望月克治議員)

⑤

○適当数が、当面 20 人ぐらいを目標にしていることが理解できた。現状はそこに到達しない段階。この要求を取り上げるべきと考え賛成。

○コロナ禍と ICT 教育も進むこの時期だからこそ、少人数学級を目指し、強く声を上げていかなければいけないと思うので採択。

陳情 6

義務教育費国庫負担制度  
の堅持・拡充を求める陳情書

全会一致で



#### 委員会での意見

○少人数学級はお金がかかる、それを補う財源がないといけけない。

○小泉内閣時に、国の負担を 2 分の 1 から 3 分の 1 に減らし、県の出費が増えた。元に戻し、その分を他の教育予算に充ててほしいので賛成。

○教育費が減った遠因には少子化が絡む心配もある。人口減少時代に将来を担う子どもに責任を持つ意味からも賛成。

○子ども基本法が成立して、子どもの権利を国も見ているという期待がある中で、地域格差が起きてはいけけない。国庫負担制度を拡充し学びの権利が保障されるよう、この陳情を採択したい。

陳情 7

「へき地教育振興法に鑑み、  
へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に  
戻すこと」を長野県知事に求める陳情書



#### 委員会での意見

○陳情をくみ取り、へき地に限らず、どこの現場でも先生に頑張ってほしいという気持ちである。

○へき地校は茅野市、諏訪圏域にも無いが、教員が茅野市からも行く可能性はあるので、公平にすべきことだとの意見。

○長野県の教員は全県人事。へき地で働くことは様々なデメリットがある。山の中だとか、町まで遠いなど。へき地で働くことにメリットが必要。それが給与に対する増額だと思う。嫌々働くのではなくて希望を持って働ける環境が必要であるから賛成。

○県内の教職員として共通の問題だ。次の転校先はへき地かもしれない。教職員として同じように捉えることが必要であるため賛成。

⑦

## 議員提案による意見書

### 水田活用の直接支払交付金の見直し内容に関する意見書 全会一致で

議員提案による意見書 1 件を可決し、国会や関係機関に提出しました。

内容は、今回の水田活用の直接支払交付金の見直しが地域の農業振興の更なる発展につながるのか、しっかりと検証し、見直し内容の再検討を行うこと。水田活用直接支払交付金はその地域に適切な農業となるために、各市町村の自由裁量が今よりも十分に発揮できるように拡充をすること。今回の見直しを実施する場合は水張りが困難な場合等の特例措置を追加すること。を茅野市において持続可能で安定した農業ができるよう要望するもの。



## 令和 4 年 6 月定例会 陳情 議決結果

番号	表題	趣旨	提出者	採決結果	
				委員会	本会議
陳情 4	国民の祝日「海の日」を 7 月 20 日に固定化する意見書の提出を求める陳情	現在 7 月の第 3 月曜日とされている国民の祝日「海の日」を制定趣旨等に鑑み、当初の 7 月 20 日に固定化することを、国に対し意見書を提出することを求めるもの。	海事振興連盟	不採択	不採択
陳情 5	さらなる少人数学級推進と、教育予算の増額を求める陳情書	どの子にもゆきとどいた教育をするために、更なる少人数学級推進と教育予算の増額をすることと、複式学級の学級定員を引き下げること、国に対し意見書として提出することを求めるもの。	長野県教職員組合諏訪支部	採択	採択
陳情 6	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情書	教育の機会均等とその水準の維持向上のために必要不可欠な義務教育国庫負担制度を堅持し、負担率を 2 分の 1 に還元するなど拡充することを、国に対し意見書として提出することを求めるもの。	長野県教職員組合諏訪支部	採択	採択
陳情 7	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める陳情書	へき地手当及びへき地手当に準じる手当の支給率を、へき地における教育の機会均等と教育水準の向上を図るため、都市部との格差いわゆる相対的へき地性が一層拡大している実情を十分把握しつつ、近隣県との均衡を勘案し、2005 年度以前の水準に戻すことを、長野県知事に対し意見書として提出することを求めるもの。	長野県教職員組合諏訪支部	採択	採択
陳情 9	諏訪湖生態系回復を強力に推進することを求める陳情	諏訪湖などの魚介類の生態を踏まえた漁獲量激減対策と流入河川の更なる環境改善を、諏訪圏域 6 市町村の共通課題と認識して、早急に調査研究し対策を講じ、諏訪広域連合で規定する「広域的課題の調査研究に関する事務」として取り上げ、調査研究事務を推進すること等を諏訪広域連合に対し意見書として提出することを求めるもの。	諏訪湖漁業協同組合	採択	採択

# 6月定例会の議決結果と各議員の賛否一覧及び報告

付託委員会 総…総務環境 経…経済建設 福…福祉教育 予…予算決算  
 ○…賛成 ●…反対 ※議長は採決には加わりません。

番号	件名	付託委員会	議決結果	両角 実晃	木村 かほり	吉田 基之	竹内 巧	伊藤 正博	机 博文	東城 源	木村 明美	小尾 一郎	矢島 正恒	伊藤 勝	長田 近夫	伊藤 正陽	伊藤 玲子	野沢 明夫	望月 克治	松山 孝志	
市 長 提 出 議 案	29	茅野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	承認	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○
	30	茅野市税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	31	茅野市国民健康保険税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	33	茅野市固定資産評価審査委員会委員選任の同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	32	市道路線の廃止について（豊平南大塩地籍）	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	34	茅野市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	35	令和4年度茅野市一般会計補正予算（第1号）について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	令和4年度茅野市一般会計補正予算（第2号）について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
37	令和4年度茅野市一般会計補正予算（第3号）について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳 情	2	コロナ感染拡大防止策に関する陳情書	議場 配布																		
	3	女性トイレの維持及びその安心安全の確保についての陳情	議場 配布																		
	4	国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情	総	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	5	さらなる少人数学級推進と、教育予算の増額を求める陳情書	福	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情書	福	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める陳情書	福	採択	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8	沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情	議場 配布																		
	9	諏訪湖生態系回復を強力に推進することを求める陳情	総	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員提出議案	2	意見書案の提出について（「水田活用の直接支払交付金」の見直しの中止を求める）	撤回																	
3		意見書案の提出について（諏訪湖生態系回復を強力に推進することを求める）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4		意見書案の提出について（更なる少人数学級推進と、教育予算の増額を求める）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5		意見書案の提出について（義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6		意見書案の提出について（「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を求める）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7		意見書案の提出について（水田活用の直接支払交付金の見直し内容に関する）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報 告		2	専決処分の報告について																		
	3	令和3年度茅野市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について																			
	4	令和3年度茅野市水道事業会計予算の繰越について																			
	5	令和3年度茅野市下水道事業会計予算の繰越について																			
	6	茅野市総合サービス株式会社の経営状況について																			
	7	株式会社地域文化創造の経営状況について																			

議決日は、6月22日の議会最終日（ただし、議案29、30、31、33号は、6月2日の開会日に即決）

## 茅野市の課題を問う!

茅野市ホームページから一般質問の録画映像がご覧いただけます。また、同ホームページの『会議録検索システム』で会議録の閲覧ができますので、ご利用ください。

## 6月定例会一般質問通告一覧

	件名	要旨
吉田基之	1 教育施策について	(1) 中学校の部活動について (2) 通学補助金について (3) 新たな教育施策は何か考えているか
野沢明夫	2 区・自治会における募金、集金業務について	(1) 「行政連絡事務委託案内」によれば、「委託事務内容」の他、「お願い事項」がある。その違いは何か (2) 長野県民交通災害共済の加入推進、緑の募金、日赤募金、茅野どんぱん寄付、社協会費、赤い羽根共同募金それぞれのお願ひ、協力依頼の内容は (3) 区・自治会からの負担感や圧力を感じるなどの声はあるか (4) 依頼業務の見直しは考えているか
	3 限界集落の現状について	(1) 地域活動維持の条件、規模をどのように考えるか (2) 現状の課題は何か (3) 市としてできることはあるか
伊藤勝	4 区域外の上下水道の方向性について	(1) 区域外の上下水道の展望について (2) 合併浄化槽の処理水の方法について (3) 深井戸の現状について
	5 補助金等の市民周知について	(1) 現状、市民は補助金等をどうやって知りえるのか (2) 広く市民にわかりやすく伝える方法を検討できないか
矢島正恒	6 市の魅力発信となる「ブランド品(特産品)」の開発及び積極的な売込みと、アフターコロナを目指した具体的な施策・取組について	(1) 市の特産品(ワイン・焼酎等)の開発及び売込みによる、積極的な本市の魅力発信について (2) 第6次茅野市総合計画策定にあたっての共通コンセプトと市長の意気込みについて (3) ハケ岳西麓3市町村の新たな環境施策や縄文文化の活用による新たな展開と取組について (4) アフターコロナを見据えた本市の経営戦略について (5) ちの観光まちづくり推進機構(DMO)のこれからの取組と向かうべき方向性について
	7 子どもや障がい者及びその家庭にとって必要となる支援や取組などについて	(1) ヤングケアラーへの支援と取組について (2) 手を差しのべ寄り添うべき子どもや家庭への支援について (3) コロナ禍における本市の自殺対策の推進について
机博文	8 「ハケ岳西麓の豊かな自然環境と共生する未来に向けた共同宣言」の展開について	(1) 共同宣言に基づく事業と将来像について (2) ハケ岳中央農業実践大学の関わりと今後の方向性について
長田近夫	9 物価高騰等に対する地方創生臨時交付金の取扱いについて	(1) 学校給食費等の負担軽減について (2) 生活者への支援について (3) 事業者への支援について
	10 3歳児健診における「屈折検査」導入について	(1) 屈折検査について (2) 国の補助について (3) 市の考えについて
木村明美	11 食と農について	(1) 茅野市での有機農法の考え方について (2) 給食への有機農産物の導入について
	12 茅野市が目指す若者・子育て世代応援プロジェクトについて	(1) 「住みたい」を応援する取組について (2) 出会いや結婚生活を応援する取組について (3) 妊娠、出産を応援する取組について

## 6月定例会一般質問通告一覧（つづき）

	件名	要旨
竹内巧	13 新たな地域公共交通の振り返りとこれからの進め方について	(1) これまでの取り組みの総括について (2) “のらざあ”と既存の移動手段の棲み分けについて (3) 観光客の移動手段を検討する際の“のらざあ”及び観光路線バスの役割について (4) 公共交通に対する財政負担の考えについて (5) デジタル田園健康特区との関連性について (6) 十分な試行期間の確保について
小尾一郎	14 市政運営上の行政区の位置付けについて	(1) 市が把握する行政区が抱える課題について (2) 行政区の運営や課題に対する市の支援について (3) 市政運営上、行政区は必要なものなのか
	15 行政上生じた不祥事に対する市長はじめ市の対応について	
東城源	16 物価高騰が続く中で「学校給食」を維持していくための対策について	(1) 給食費の値上げは避けられるか (2) 学校給食の制度の見直しは必要か
	17 「AI乗合オンデマンド交通」の運行と運賃について	(1) 運賃設定の経過について (2) 運賃設定の再検討は可能か
木村かほり	18 困窮する子育て家庭への支援について	(1) 困窮する家庭が利用できる施策について (2) 困難な状況に置かれる子どもの把握の取組と今後について (3) 子どもの居場所における相談支援について
	19 DX推進における市民意見への取組について	(1) DX基本構想案のパブリックコメントについて (2) DX推進の周知や意見収集の体制について (3) 市民の理解を深め意見を反映させるための取組について
伊藤正博	20 茅野市の教育現場における農業振興について	(1) 教育現場での取組について (2) 成果、反響について (3) 今後の取組について
伊藤玲子	21 コロナ禍を体験してきた子どもたちの現状と課題について	(1) コロナ禍直前から現在にかけての子どもたちの姿について (2) コロナ禍による「一斉休校」と「分散登校」の取組状況と成果・課題について (3) コロナ禍で見えてきた教育の成果や課題について (4) 子どもたちの精神的幸福度を上げるための更なる取組について
伊藤正陽	22 小中学校でのパソコンを使用した指導での課題と教員の多忙化の解消について	(1) 児童生徒へのパソコン一人一台貸与で指導（授業）はどう変わったか (2) パソコン使用で机上が狭くなるが解消の工夫はあるか (3) カメラと三脚の学級一台の配備について (4) パソコンは全児童生徒、全教員に配備されているか (5) ICT教育支援員の増員の考えは (6) スクール・サポート・スタッフ（SSS）の全校配置と業務内容、勤務時間について (7) 教員の授業の持ち時間数の適正化について (8) 教員の増員について
望月克治	23 茅野市のゼロカーボンへの取組について	(1) 目標と達成時期について (2) 化石燃料使用を減らす取組を進める手法について (3) 電力使用量を減らす省エネの進め方について (4) 化石燃料以外で作り出すエネルギーについて
	24 「デジタル田園健康特区」は今後どのように進められるのか	(1) 応募した茅野市のプランはそのまま実現に向かうのか (2) 実現への行程の中で、どの段階で市民意見を聞くのか (3) 推進本部的な区域会議には、地域からは首長だけが入り、その下の分科会で初めて自治体が入っている。茅野市の声は反映されるのか (4) 実現にあたり、実際に取り組む現場の声を聞いているか (5) 特区としての特別な財政支援はあるのか



# 委員会の正副委員長が交代しました

## 〈茅野市議会の構成〉

### 本会議

- ✓ 全議員で構成する議会の会議
- ✓ 議案を審議し、議会として意思決定
- ✓ 市政一般に対する質問

### 議会運営委員会

- ✓ 定数：6人以内
- ✓ 議会運営を円滑、効率的に行うために設置

### 常任委員会

- ✓ 議案等を専門的に審査するため、所管事務の付託を受け、詳細に審査

#### 【総務環境委員会（定数：6人以内）】

総務部、企画部、市民環境部、会計課、消防などの所管に属する事項

#### 【経済建設委員会（定数：6人以内）】

産業経済部、都市建設部、農業委員会の所管に属する事項

#### 【福祉教育委員会（定数：6人以内）】

健康福祉部、教育委員会、福祉事務所の所管に属する事項

#### 【予算決算委員会】

予算、決算に関する事項

### その他会議

- ✓ 全員協議会：特に重要な案件について、議員相互又は市長と協議・調整
- ✓ 広報広聴委員会：議会報告会の開催、議会だよりの発行など

## 総務環境委員会



後列左から…

木村明美 小尾一郎 望月克治 樋口敏之

前列左から…

矢島正恒（委員長） 竹内 巧（副委員長）

### 総務環境委員長 矢島 正恒

総務環境委員会は、総務部、企画部、市民環境部、会計課、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会に関することなどを担当しています。委員会としての活発な議論としっかりとした考え方の基に、それぞれの担当する事項を厳しく審査するとともに、市民の幸せと住み良い茅野市になるように、委員一同全力で活動してまいります。よろしくお願いいたします。

### 総務環境副委員長 竹内 巧

デジタル田園健康特区の推進、脱炭素社会に向けた取組、新しい公共交通の構築といった大型案件のほか、地区コミュニティの維持・活性化、消防組織の見直し、維持管理能力を上回る公共施設への対応など、当委員会の所管事務事業には、取り組み甲斐のある事案が沢山あります。

こうした事案をはじめとする所管事務事業の審査が的確に行えるよう、委員の皆様と共に必要な調査・検討を重ねて行かれるよう、委員長と共に努めてまいります。

## 経済建設委員会



後列左から…

東城 源 伊藤 勝 長田近夫 伊藤玲子

前列左から…

机 博文 (委員長) 吉田基之 (副委員長)

### 経済建設委員長 机 博文

新型コロナウイルス、原油価格の高騰、ウクライナ危機、円安、電力不足や異常気象により物価は上昇し、生活への不安は益々深刻になり、厳しい生活環境や経営環境は先行きが見通せない状況下にあります。当委員会では産業経済部、都市建設部、農業委員会に関する事項を受け持ち、関係部署に関わる積極的な委員会協議会を開催し、状況把握や調査・研究を行うとともに、委員の協力を得ながら円滑な委員会運営に努めてまいります。

### 経済建設副委員長 吉田 基之

ウイズコロナの中、感染対策をしっかりとしながら徐々に経済を回していかなければならない。また、物価高騰のあおりを受けている市民生活を支えていく施策や、商工、観光、農業など課題も多く抱えている。経済建設委員会として、後押し出来るよう机委員長を中心に頑張っていきます。



### 福祉教育委員長 野沢 明夫

当委員会は福祉及び教育関係の行政事務を所管しています。市民生活に直接的に関係する重要な施策を審査しており、予算規模も大きく多岐にわたります。最終年度の本年は、視察研修が予定されており、ICT教育、子育て、介護、包括ケアなど他市町村から学ぶ予定です。またテーマに沿って協議会を開催し、行政施策の提言や要望をまとめていきたいと考えています。市民の皆様からのご意見やご提言をお待ちしており、意見交換会も企画しています。

### 福祉教育副委員長 木村 かほり

ICT教育やデジタル化、格差や少子化など、社会が大きく変化している今、誰もが安心して暮らせるための福祉や、子どもたちをはじめ、生涯学ぶための教育施策の充実が求められます。市民の皆様のご生活の基本となる福祉と教育について、ひとりひとりが大切にされ、笑顔あふれるやさしい茅野市となるために、多くの声を聴き、研究を重ねてまいります。委員長とともに、活発な議論を交わせる委員会運営に努めます。

## 福祉教育委員会



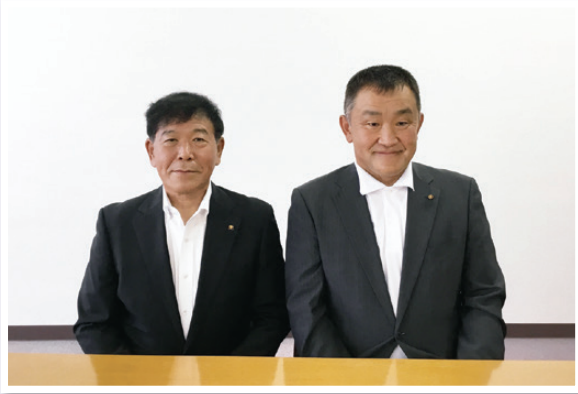
後列左から…

両角実晃 伊藤正博 伊藤正陽 松山孝志

前列左から…

野沢明夫 (委員長) 木村かほり (副委員長)

## 予算決算委員会



小尾一郎（委員長） 両角実晃（副委員長）

木村かほり	吉田基之	竹内 巧	伊藤正博
机 博文	東城 源	木村明美	矢島正恒
伊藤 勝	長田近夫	伊藤正陽	伊藤玲子
野沢明夫	望月克治	松山孝志	樋口敏之

### 予算決算委員長 小尾 一郎

今年度一年間、予算決算委員会の委員長を務めることになりました小尾一郎です。

委員会名のとおり、当委員会は、行政運営の要である予算案の適否と行政運営の結果の適否を判断する委員会です。当委員会は議員全員 18 名で構成されているため、その判断は議会の判断に準じることになります。

円滑且つ適切な議事進行となるよう、また、行政運営に関して、的確な判断・評価に至るよう努めてまいります。

### 予算決算副委員長 両角 実晃

令和 4 年度、予算決算委員会の副委員長を仰せつかることになりました両角実晃です。

茅野市の一般会計などの予算・決算、補正予算を審査する重要な役割を担う委員会です。小尾一郎委員長をしっかりとお支えしながら、慎重審査の中に速やかな委員会進行が務められるよう努力精進してまいります。皆様方のご協力をいただきながら、一年間宜しくお願いいたします。

### 議会運営委員長 望月 克治

任期始めと締め、議会運営委員会の委員長をさせていただくことになりました。市民のみなさんに信頼される議会となるように努めます。市議会 4 期目となり、期数では最長となる経験を活かして、分かり易い議会運営を進めます。ご意見・ご要望などを議会にお寄せいただければ幸いです。

### 議会運営副委員長 伊藤 勝

議会運営を円滑に行うために委員長を補佐し、そのための委員会が活発な議論が出来るよう裏方に徹したいと思います。また、期の最終年度でもあります、さらに議会改革の推進にも議運として積極的に関与したいと考えます。

## 議会運営委員会



後列左から…

机 博文 矢島正恒 伊藤正陽 野沢明夫

前列左から…

望月克治（委員長） 伊藤 勝（副委員長）

※一部事務組合の諏訪湖浄化対策連絡協議会委員が茅野市議会の各委員会の委員長の交代により代わりました。  
委員名簿：樋口敏之、松山孝志、矢島正恒、机 博文、野沢明夫、小尾一郎

# 常任委員会の活動



## 《福祉教育委員会》

福祉教育委員会は4月20日、市教育委員会子ども部が令和3年度に実施した「茅野市子どもの生活状況調査・茅野市高校生の生活実態に関するアンケート」結果を全国との比較や、茅野市の今後の対応も含め、深めたいとの趣旨で市子ども部との意見交換会を実施しました。

その中で子ども部から「貧困、低所得家庭では文化資本、人的資本、社会関係資本を獲得するチャンスが低い結果となっている」「今の生活は何とかなっているが、漠然とした不安を抱えている子がいる」「この2～3年の間に『家庭の困窮が進行しているところが多い』」との発言がありました。

委員からは「経済的な貧困が心の貧困にもつながっていると思う」等の感想が語られました。



### みなさんも傍聴にお越しください

《傍聴をご希望の方は当日議会棟3階までお越しください》

#### 6月定例会では職場体験中の北部中学校の生徒が一般質問を傍聴しました

今回は傍聴する機会をいただきありがとうございました。傍聴して感じたことは、茅野市内のことをよりよくするために、市議会議員の方々が質問しているんだと感じました。もっと茅野市のことを知ってみたいと関心をもつことができました。



#### 9月定例会本会議予定

- 8月29日(月) 開会、提案説明、先議案件採決
- 9月5日(月) 議案質疑、委員会付託
- 9月7日(水) 一般質問
- 9月8日(木) 一般質問
- 9月9日(金) 一般質問
- 9月22日(木) 委員長報告、採決、閉会

#### ホームページから議会を見ることができます

本会議はビーナチャンネルとインターネット(▶QRコード)で生中継と録画をご覧いただけます。



### 編集後記

「議会だより」(年4回)も平成24年の創刊から、早いもので第42号を数えるまでになりました。創刊号には議員全員がそれぞれの思いを記しています。私も「抱負」という題で青臭い言葉を連綿と連ねている。今思うと赤面の至りです。しかし、同誌の発刊に際して、議員全員が並々ならぬ思いを込めているのも確かである。これからも、その初心を忘れずに、市民に愛される紙面作りをお約束して編集後記とします。

伊藤 勝

### ● 議会広報部会 ●

- 部会長 望月克治
- 副部会長 木村かほり
- 部会員 伊藤正博、机 博文、伊藤 勝、伊藤正陽、伊藤玲子、野沢明夫

